



区民要求に背むける煙山区政

力あわせ願い実現に全力

日本共産党



区長に緊急重点要望を提出 (11月7日)



迎春

根津神社にて 左より、佐藤憲和区議、板倉美千代前区議、高畑ひさ子、島元雅夫、関川けさ子区議、小竹ひろ子都議、こうだ久美子、小林進区議

実現しました



簡易耐震診断を実施

耐震診断費用助成に加え、民間建物の簡易診断を区が実施。

コミュニティバス運行

12月に区民意向調査を実施し、バス導入の基本的考え方を検討。

千石西保育園耐震補強

工事中、保育は明化小学校で、学童保育は大塚小で行われます。

保育園民営化できず

区は4月から実施予定の2園の民営化は事実上無理と明言。

アスベスト対策すすむ

区と建設業協会はアスベストを使用しないと協定書を締結。

公的保証人制度実現

住宅を借りる際、保証人で困っていた高齢者や障害者に朗報。

(4月から実施も含みます)

第4回定例会 中中中中中中中中中中中中中中中中中中

代表質問しました

(全文はホームページで)

- ・子育て支援、アスベスト対策、住宅対策、行革・再開発見直しで区民生活の応援を
- ・学校の統廃合は拙速にすすめないこと
- ・30人学級の早期実現を
- ・介護保険料の値上げ-区は軽減策の実施を
- ・増える国保料の滞納問題について



代表質問をする
関川けさ子議員

文京区は、煙山区長になってから、学校給食調理や図書館受付業務等の民間委託、卒業アルバム公費負担の廃止等2年連続で300事業46億円もの施策の切り捨てを行いました。区財政は、01年度から04年度まで連続黒字

になっています。寿会館の全廃・お風呂廃止など区がすすめる「新行革」に、かつてない区民の反対運動があるにも拘らず強行、区民の願いに背を向け、区民の声を聞こうとしない区政運営に批判が集中しています。



後楽園オフト平日も (黄色ビル)

寿会館を全廃 お風呂もなくす

17の寿会館の全廃が、日本共産党と市民フォーラムが反対するなか決まり、「交流館」という貸し館となります。高齢者の活動に冷水を浴びせる煙山区政です。

区民の運動と共産党の提案で、西原・小日向・森川・礪川寿会館は介護施設として残す等の変更がされました。

「小学6年生まで無料にして」-毎議会出される請願に拒否し続ける煙山与党。区長は「拡大は考えておりません」。子育て支援が最重要課題といいながら、

小学6年生まで 医療費無料化を

「せめて病気やケガのとき、お金の心配なしに治療を」との親の願いを無視。共産党区議団は、実現のため条例提案しています。

30人学級 区として実施を

「勉強がわかる」、「子どもが落ち着く」。30人学級は、学校生活に慣れない小学1年生に大変有効だと文部科学省もお墨付き。学力世界一のフィンランドでは24人。国内でも少人数学級が大きな流れです。学校統廃合が先で、30人学級実施に背を向ける煙山区政は問題です。

区は、批判の強いシビック建設には何ら反省することなく、いま超高層ビルを中心とした後楽二丁目西地区、茗荷谷駅前地区での再開発をすすめ、61億円もの巨費(補助金)を投入。区民から監査請求が出されました。

巨大再開発に税金投入

日本共産党は見直しを求めています。さらに区役所前の春日町三丁目地区では155mと105mの2棟の超高層ビルを含む総床面積15万㎡もの巨大再開発を計画、より多くの補助金を投入しようとしています。こんなやり方は到底区民の理解は得られません。

高齢者・障害者住宅建設を

区民の住宅事情は依然として深刻です。ところが区は、「直接供給型の住宅施策は行わない」と、シルバーピアや区営住宅の建設に背を向けています。やむなく他区に引越す事態もあります。住みつけられる住宅対策が必要です。

少ない空室-こんなに多い応募者 (05年)

住宅の種類	募集	応募数	倍率
シルバーピア(世帯)	4戸	36人	9倍
シルバーピア(単身)	20戸	168人	8倍
高齢者アパート	5戸	86人	17倍
区営住宅	2戸	58人	29倍

馬券売場 平日も開催 スポーツの殿堂が泣く!!

昨年、後楽園オフトに大井競馬を開催

必要ないので十分把握していません。後楽園オフトの常設以来

「オフト撤去」の請願が毎回区議会に提出され、区あげて競輪反対の運動をしている時に、ギャンブル拡大を黙認した区の姿勢は納得できません。

しない平日に南関東の3競馬の場外馬券売場が開設された。区は、近隣町会に説明があり反対もなかった、警察の了承も得られていた、区の了承は

介護保険料値上げ 区独自に軽減策を

現在月額3300円の介護保険料(65歳以上の標準額)を4月から4500円とする値上げ案が出され、区民に衝撃が走っています。23区で2番目の値上げ率です。昨年10月から施設利用者の居住費・食費が全額自己負担となり、この二重の値上げに区の説明会場からは、「これ以上は払えない」と見直しを求める声が相次ぎました。

共産党は、一般財源の投入で保険料抑制、所得区分の細分化、区の独自軽減策を提案しています。

みんなの春夏秋冬



出番を待つ
「小さな政府」の大きな主役 倉田 新